

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用）教科

公民 科目 公共

教科：公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～

6 組

教科担当者：

使用教科書：（第一学習社 新公共

）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

現代の社会的現象と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけさせる。

【思考力、判断力、表現力等】

現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見出し、社会的現象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察させ、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現させる。

【学びに向かう力、人間性等】

現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を深め、意欲的に課題を追及するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけさせ、人間としての在り方生き方についての自覚を深めさせる。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめさせる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論させる。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決する態度を育ませる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	公共の空間を作る私たちについて理解させ、話し合いを行い、考えさせる。	・おとなになるとはどういうことだろうか ・個人の尊厳と自主自律 ・多様性と共通性 ・伝統文化とのかかわり	【知識・技能】 ・青年期について理解している。 【思考・判断・表現】 ・青年期について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	公共的な空間における基本原理について、民主政治と政治体制を通して理解し、考えさせる。	・個人の尊厳と平等・個人の尊重 ・民主主義と法の支配 ・自由・権利と責任・義務 ・日本国憲法に生きる基本原理	【知識・技能】 ・民主政治について理解している。 【思考・判断・表現】 ・民主政治について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	法や規範の意義や契約、司法の意義について理解し、考えさせる。	・法や規範の意義と役割 ・契約と消費者の権利・責任 ・司法参加の意義	【知識・技能】 ・法と司法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・法と司法について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	政治参加について考え自分の意見を持たせる。雇用や労働問題について理解させる。自分の職業観について考えさせる。	・政治参加と公正な世論形成 ・雇用と労働問題 ・社会の変化と職業観	【知識・技能】 ・政治参加・雇用と労働問題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・政治参加・雇用と労働問題について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学期	経済の仕組みについて理解させ、現代社会の経済的課題について考えさせる。	・市場経済の機能と限界 ・金融のはたらき ・財政の役割と社会保障	【知識・技能】 ・市場の仕組みと財政について理解している。 【思考・判断・表現】 ・市場の仕組みと財政について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和7年度 (2学年用) 教科 数学 科目 数学Ⅱ (理系)

教科: 数学 科目: 数学Ⅱ (理系) 単位数: 5 単位
 対象学年組: 第 2 学年 3 組 ~ 4 組
 教科担当者:
 使用教科書: (新編 数学Ⅱ (数研出版))
 教科 数学 の目標:

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 科目 数学Ⅱ (理系) の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。	事象を数学的に考察し表現する能力を養う。	数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
三角関数 【知識及び技能】 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から新たな性質を導くこと。 【学びに向かう力、人間性等】 二つの数量の関係に着目し、日常の社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	・指導事項 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第3節 加法定理 ・教材 新編数学Ⅱ 3TRIAL 数学Ⅱ+B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	34
1 定期考査			○	○		1
指数関数と対数関数 【知識及び技能】 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 指数と対数を相互に関連付けて考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を推察したりすること。	・指導事項 第5章 指数関数と対数関数 ・教材 新編数学Ⅱ 3TRIAL 数学Ⅱ+B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	34
2 定期考査			○	○		1
式と証明 【知識及び技能】 三次の乗法公式及び因数分解の公式を近いし、それらを用いて式の展開や因数分解をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 次の計算の方法をすでに学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。	・指導事項 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 ・教材 新編数学Ⅱ 3TRIAL 数学Ⅱ+B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	34
2 定期考査			○	○		1
図形と方程式 【知識及び技能】 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置やに転換の距離を表すこと。 【思考力、判断力、表現力等】 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	・指導事項 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 ・教材 新編数学Ⅱ 3TRIAL 数学Ⅱ+B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	34
3 定期考査			○	○		1
微分法と積分法 【知識及び技能】 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 関数とその導関数との関係について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。	・指導事項 第6章 微分法と積分法 第1節 微分法 第2節 積分法 ・教材 新編数学Ⅱ 3TRIAL 数学Ⅱ+B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	34
3 定期考査			○	○		1
						合計
						175

教科: 数学 科目: 数学B 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 2 学年 3 組~ 4 組
 教科担当者:
 使用教科書: (新編 数学B (数研出版))
 教科 数学 の目標:

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 科目 数学B の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。	事象を数学的に考察し表現する能力を養う。	数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	等差数列と等比数列 【知識及び技能】 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 事象から離散的な変化を見出し、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 自然数の性質などを見出し、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他に証明方法と比較し多面的に考察すること。	・指導事項 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 ・教材 新編数学B 3TRIAL 数学II+B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	13
	定期考査		○	○		1	
	漸化式と数学的帰納法 【知識及び技能】 数学的帰納法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事象から離散的な変化を見出し、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 自然数の性質などを見出し、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他に証明方法と比較し多面的に考察すること。	・指導事項 第1章 数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 ・教材 新編数学B 3TRIAL 数学II+B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	13
定期考査		○	○		1		
2 学期	確率分布 【知識及び技能】 標本調査の考え方について身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 目的に応じて、標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推察し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。	・指導事項 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 ・教材 新編数学B 3TRIAL 数学II+B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	13
	定期考査		○	○		1	
	統計的な推測 【知識及び技能】 標本調査の考え方について身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 目的に応じて、標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推察し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。	・指導事項 第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 ・教材 新編数学B 3TRIAL 数学II+B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	13
定期考査		○	○		1		
3 学期	数学と社会生活 【知識及び技能】 社会生活などにおける問題を、数学を活用して解決する意義について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 日常の事象や社会の事象において、数・量・形やそれらの関係に着目し、理想化した単純化したりして、問題を数学的に表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 解決過程を振り返り、そこで用いた方法を一般化して、他の事象に活用すること。	・指導事項 第3章 数学と社会生活 ・教材 新編数学B 3TRIAL 数学II+B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	13
	定期考査		○	○		1	
						合計	70

高等学校 令和7年度（2学年用）教科

理科 科目 化学

教科：理科

科目：化学

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 選択

教科担当者：

使用教科書：（東京書籍 化学）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】 自然の事物に関する理解を深めるとともに、現象を考える力を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】 理科の見方・考え方をはたらかせ、科学的に探究する能力と態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に対する関心を高め、科学的な自然観を育成する。

科目 化学

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
定期考査において各単元の知識、理解度から判断する。	定期考査において各単元の思考力から判断する。	実験、実習において積極性、正確性、協調性から判断する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	原子の構造 【知識及び技能】 原子の構造を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 電子配置と性質の関係を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 静電気の実験から原子の構造を想像できる。	・原子の構造 ・原子番号と質量数 ・電子配置	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	化学結合 【知識及び技能】 イオンの種類を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 イオンが形成される仕組みを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において結合の種類を見分けることができる。	・イオン ・イオンの形成 ・イオン結合、共有結合	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
2 学 期	物質の変化 【知識及び技能】 分子量を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 物質量を考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験においてアボガドロ数を求めることができる。	・原子量 ・物質量 ・アボガドロ数	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	濃度 【知識及び技能】 濃度の表し方を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 濃度をモル数で表せる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において溶液の濃度を色々な方法で表せる。	・質量%濃度 ・モル濃度 ・メスフラスコの使用方法	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3 学 期	化学反応の表し方 【知識及び技能】 化学反応式を書ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応式の意味を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において起こった化学反応を化学反応式に書ける。	・化学反応式 ・化学反応式の量的関係 ・未定係数法	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
	定期考査						1
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用）教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】体力を高める運動の意義と、高め方及び競技のルール等を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】技能の段階に応じて、課題解決のための目標を設定し、練習を工夫できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】仲間と協力し、様々な種目に積極的に取り組む。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> 運動の主眼的、合理的、計画的な実践に関する具体的な事項やスポーツの推進及び発展に寄与するための事項について理解している。 生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習する運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育の学習に主体的に取り組もうとしている。 危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。 フェアなプレイを大切にしようとしている。 作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	①運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 ②生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う ③運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う	・ラジオ体操 ・体ほぐしの運動 ・体力テスト ・バドミントン ・水泳	【知識・技能】 ・運動の主眼的、合理的、計画的な実践に関する具体的な事項やスポーツの推進及び発展に寄与するための事項について理解している。 ・生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・学習する運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体育の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。 ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	○	○	○	26	
2 学期		・水泳 ・ニュースポーツ ・サッカー ・バスケットボール ・バレーボール		○	○	○	30	
3 学期		・長距離走 ・ニュースポーツ		○	○	○	14	
							合計	
								70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科： 芸術

科目： 音楽Ⅱ

単位数：

単位 2

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書：（ MOUSA 2 ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽を理解し生かす

【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することを意識する

【学びに向かう力、人間性等】主体的に幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育み生かす

科目 音楽Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解し表現し生かす	音色・リズム・速度・教材・形成を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように歌うかについて表現意図を持ち表現する	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み音楽を愛好する心情を育て生かす

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を知覚する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱の学習活に取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○		○	曲に相応しい発声、言葉の発音、体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身につける。 学習記録とワークシート	○	○	○	8
	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を知覚する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱の学習活に取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○		○	曲について調べたり意見を交換したりして曲想と音楽の構造や歌詞をイメージをもって試行錯誤しながら表現を工夫する。 学習記録とワークシート	○	○	○	8
	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を知覚する。 【学びに向かう力、人間性等】 指揮者になってみる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○		○	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きに注目しながら鑑賞し、指揮者になる。 歌のテスト 学習記録とワークシート	○	○	○	8
	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞。 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を知覚する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱の学習活に取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○		○	1学期の総括で個別実技テストを行う	○	○	○	4
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 曲想とギターの関わり 【思考力、判断力、表現力等】 曲に相応しい奏法、体の使い方 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ギター ・ドラムスティック	○	○		曲に相応しい奏法、体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身につける。 学習記録とワークシート ギター練習記録	○	○	○	12
	A 単元 【知識及び技能】 曲想とギターの関わり 【思考力、判断力、表現力等】 曲に相応しい奏法、体の使い方 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ギター ・ドラムスティック	○	○		曲に相応しい奏法、体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身につける。 学習記録とワークシート ギター練習記録とギターテスト	○	○	○	12
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 曲想音楽の構造や歌詞との関わり 【思考力、判断力、表現力等】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ドラムスティック	○	○	○	物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲に相応しい表現を工夫して歌う。 学習記録とワークシート	○	○	○	12
	A 単元 【知識及び技能】 曲想音楽の構造や歌詞との関わり 【思考力、判断力、表現力等】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ドラムスティック	○	○	○	物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲に相応しい表現を工夫して歌う。 学習記録とワークシート 歌のテスト	○	○	○	6
										合計
										70

年間授業計画

高等学校 令和7年度

教科

外国語 英語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科: 外国語 英語 科目: 英語コミュニケーションⅡ

単位数: 単位数: 4 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 6 組

教科担当者:

(All Aboard! English Communication II (東京書籍) 、クラウン チャンクで英単準(三省堂))

教科 外国語 英語

の目標:

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、適切に表現することができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自発的にコミュニケーションをとうろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
●言語材料と言語活動を効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。	●コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する能力を身につける。	●足りない力や、学習方法などを自ら考え、授業での言語活動を充実させるための努力を続ける姿勢を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	感	記 数 時 数
		聞	読	話 (発 言)	書					
Lesson 1 ●関係代名詞whatを用いた文の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●本文や、海外で行ってみたい場所についてのスピーチや対話の概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●Colorful Island ●関係代名詞what ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●単語テストの実施 ●ET とのインプット、アウトプットの表現練習、実践	○	○	○	○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	12
Lesson 2 ●比較表現 (more) (the most) を用いた文の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●好きな音楽バンドについて自分で調べた事項を用いて、理由などを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●本文や世代を超えて人気のある音楽バンドや、好きな人物について話されるスピーチや対話の概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●With the Beatles ●比較表現 (more) (the most) ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●単語テストの実施 ●ET とのインプット、アウトプットの表現練習、実践	○	○	○	○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	12
1 学期 定期考査	●Lesson 1 - Lesson 2					●授業内容を理解し、予習・復習の成果を発揮することができる。	○	○		1
Lesson 3 ●itを用いた文 (It is ... (for ...) to ~) (It is ... that ~) の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●身近な行事について自分で調べた事項を用いて、情報や考えなどを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●ヨーロッパの国々の祭り登場する「ワイルドマン」についての概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●Wild Men ●itを用いた文 (It is ... (for ...) to ~) (It is ... that ~) ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●単語テストの実施 ●ET とのインプット、アウトプットの表現練習、実践	○	○	○	○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	12
Lesson 4 ●間接疑問文の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んだり、物語の結末を想像したり、考えを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にした物語の概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●Little Hero ●間接疑問文 ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●単語テストの実施 ●ET とのインプット、アウトプットの表現練習、実践	○	○	○	○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	13
定期考査	●Lesson 3 - Lesson 4					●授業内容を理解し、予習・復習の成果を発揮することができる。	○	○		1
Lesson 5 ●不定詞を含む表現の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●日本の伝統文化である歌舞伎を取り上げた文章を読んで、結末を想像したり、考えを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●日本の伝統文化である歌舞伎を取り上げた文章の概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●Special Makeup in Kabuki ●不定詞を含む表現 ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●単語テストの実施 ●ET とのインプット、アウトプットの表現練習、実践	○	○	○	○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	13
Lesson 6 ●動詞の目的語になるif節を用いた文の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●京野菜について学んだり、野菜を育てることについての考えを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●高校の部活動による京野菜についてのグループ発表や、京野菜について書かれたポスターの記事の概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●Seeds for Future Generations ●動詞の目的語になるif節 ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●単語テストの実施 ●ET とのインプット、アウトプットの表現練習、実践	○	○	○	○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	14
定期考査	●Lesson 5 - Lesson 6					●授業内容を理解し、予習・復習の成果を発揮することができる。	○	○		1
Lesson 7 ●関係副詞where, whenを用いた文の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●授業中で動画を描く活動について学んだり、その情報や考えなどを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】	●Over the Wall ●関係副詞where, when ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●単語テストの実施 ●ET とのインプット、アウトプットの表現練習、実践	○	○	○	○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	13
Lesson 8 ●知覚動詞を用いた文の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●生物模倣について学んだり、痛くない注射針についての情報や考えなどを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●生物模倣についてのオンライン講演の授業や、痛くない注射針について書かれた記事の概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●Inspiration from Nature ●知覚動詞 ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●単語テストの実施 ●ET とのインプット、アウトプットの表現練習、実践	○	○	○	○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	14
定期考査	●Lesson 7 - Lesson 8					●授業内容を理解し、予習・復習の成果を発揮することができる。	○	○		1
Lesson 9 ●使役動詞を用いた文の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●チョコレートをめぐる社会問題とその解決策についての情報や考えを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●本文についての雑誌の記事や、カカオ農園での児童労働の問題についての討論の概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●The Bitter Truth behind Chocolate ●使役動詞 ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●単語テストの実施 ●ET とのインプット、アウトプットの表現練習、実践	○	○	○	○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	16
Lesson 10 ●分詞構文を用いた文の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●イオンゲームの生誕について学んだり、人を助ける職業についての情報や考えを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯を紹介する記事の概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●Fighting Angel ●分詞構文 ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●単語テストの実施 ●ET とのインプット、アウトプットの表現練習、実践	○	○	○	○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	16
定期考査	●Lesson 9 - Lesson 10					●授業内容を理解し、予習・復習の成果を発揮することができる。	○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和7年度 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組
 教科担当者：
 使用教科書： (《実教出版》 図説 家庭基礎)
 教科 家庭 の 目 的：
【知識及び技能】 生活の自立のための衣食住や消費生活、家族や家庭生活などの基礎的な知識・技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】 生活の中の課題の解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】 生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生活にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、社会との関わりについて理解を深め、生活を営むための必要な家族・家族、衣食住、消費などについて理解し、基本的な技能を身につける。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考案したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組み、振り返り、改善したりして、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践する態度を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	感	配当 時数	
1 学期	単元：＜自分らしい生き方と家族＞ 【知識及び技能】 各ライフステージの発達課題、家族や家庭生活に関する基本的知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家族や家庭生活について、自分の現在・将来と結びつけながら考え、課題の解決に向けて思考・判断し、実践することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 家族や家庭生活について、関心を持って知ろうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出すことができる。	オリエンテーション 第1章 自分らしい生き方と家族 1. 生涯発達する人生、青年期を生きる 2. 男女共同参加社会をめざして 3. 現代の家族、社会環境の変化や課題 4. 家族に関する法律 教材：プリント、資料集	【知識・技能】 ・各ライフステージの発達課題を理解している。 ・家族や家庭生活に関する基本的知識を理解している。 【提出物、定期考査】 【思考・判断・表現】 ・家族や家庭生活の課題について、その解決策を思考し、自分の意見を論理的に述べることができる。 ・学んだ知識から生活に結びつけて適切に思考することができる。 【提出物、定期考査】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族や家庭生活について、関心を持って主体的に授業に参加している。課題の解決に向けて解決策を見出そうとし、意見を表現することができる。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 【授業への取り組み、提出物】	○	○	○	12
	単元：＜子どもとかわる＞ 【知識及び技能】 子どもの成長に関する基本的知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの発達や子どもとの関わりについて、自分の現在・将来と結びつけながら考え、課題の解決に向けて思考・判断し、実践することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの発達や子どもとの関わりについて、関心を持って知ろうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出すことができる。	第2章 子どもとかわる 1. 子どもの誕生、子どもの発達 2. 子どもの生活習慣 3. 子どもの衣食住・発生活 4. 子どもの遊び 5. 親になることを考えよう 教材：プリント、資料集	【知識・技能】 ・子どもの成長に関する基本的知識を理解している。 【提出物、定期考査】 【思考・判断・表現】 ・子どもとの関わり方、子育て環境の課題などについて考え、より良い課題の解決に向けて思考・判断し、表現することができる。 ・学んだ知識から生活に結びつけて思考することができる。 【提出物、定期考査】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもの発達や子どもとの関わりについて、関心を持って授業に取り組み、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出そうとしている。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 【授業への取り組み、提出物】	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	単元：＜衣生活をつくる＞ 【知識及び技能】 衣生活に関する基本的知識や技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 衣生活に関する課題を見出し、自分の行動を見直したり、社会の改善策を考え、自分の意見を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 衣生活に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、課題に意欲的に取り組むことができる。	第6章 衣生活をつくる 1. 人と衣服のかかわり、快適な衣生活 2. 衣服素材の種類と特徴、性能 3. 衣服の選択、管理 4. 実習（エコバック製作） 教材：プリント、資料集、エコバック製作教材	【知識・技能】 ・衣生活に関する基本的知識を理解している。 ・シワの基本的技術が身についている。 【提出物、定期考査】 【思考・判断・表現】 ・衣生活に関する課題に基づき、自分の生活を結びつけて改善策を思考・判断し、表現することができる。 ・学んだ知識から身の回りの生活に結びつけて思考することができる。 【提出物、定期考査】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・衣生活について、関心を持って知ろうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出そうとしている。 ・実習に意欲的に取り組み、期限を守って作品を提出している。 ・学んだ知識から身の回りの生活に結びつけて思考することができる。 【授業への取り組み、提出物】	○	○	○	12
	単元：＜食生活をつくる＞ 【知識及び技能】 食生活に関する基本的知識や技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 食生活に関する課題を見出し、自分の行動を見直したり、社会の改善策を考え、自分の意見を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食生活に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、課題に意欲的に取り組むことができる。	第5章 食生活をつくる 1. 食生活と健康 2. 食料資源 3. 食品の選択と表示、食品の衛生 4. 食事摂取基準、食品群別摂取量の目安 5. 調理の基本 教材：プリント、資料集	【知識・技能】 ・食生活に関する基本的知識を理解し、基本的技術を身につけている。 【提出物、定期考査】 【思考・判断・表現】 ・食生活に関する課題を見出し、自分の行動を見直したり、社会の改善策を思考・判断し、表現することができる。 ・学んだ知識から身の回りの食生活に結びつけて思考することができる。 【提出物、定期考査】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食生活について、関心を持って知ろうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出そうとしている。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 【授業への取り組み、提出物】	○	○	○	10
	単元：＜高齢者とかわる＞ 【知識及び技能】 高齢社会の現状や高齢者の生活について基本的知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢社会の課題を見出し、改善策について考えたり、自身や家族のことと結びつけて考え、自分の意見を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢社会に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、課題に意欲的に取り組むことができる。	第3章 高齢者とかわる 1. 高齢社会に生きる 2. 高齢者を知る、介護の心 教材：資料集	【知識・技能】 ・高齢者や高齢社会に関する基本的知識を理解している。 【提出物、定期考査】 【思考・判断・表現】 ・高齢社会に関する課題を見出し、社会の改善策を思考・判断し、自分の意見を表現することができる。 ・学んだ知識から身の回りの食生活に結びつけて思考することができる。 【提出物、定期考査】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢社会について、関心を持って知ろうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出そうとしている。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 【授業への取り組み、提出物】	○	○	○	2
3 学期	単元：＜社会とかわる＞ 【知識及び技能】 社会福祉や社会保険制度について基本的知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ知識から自身の生活に結びつけて思考・判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会福祉に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、課題に意欲的に取り組むことができる。	第4章 社会とかわる 1. 社会に生きるために 2. 社会保険制度 教材：資料集	【知識・技能】 ・社会福祉や社会保険制度や高齢者や高齢社会に関する基本的知識を理解している。 【提出物、定期考査】 【思考・判断・表現】 ・社会に生きるために必要なことは何か、自分自身でできることは何かを考え、導き出すことができる。 ・学んだ知識から身の回りの生活に結びつけて思考・判断し、行動することができる。 【提出物、定期考査】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・社会とかわることについて、関心を持って学ぼうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出そうとしている。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 【授業への取り組み、提出物】	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	単元：＜住生活をつくる＞ 【知識及び技能】 住生活に関する基本的知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ知識から自身の生活に結びつけて思考・判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 住生活に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、課題に意欲的に取り組む。期限を守って提出物を提出することができる。	第7章 住生活をつくる 1. 住空間（平面計画） 2. 健康に配慮した住まい 3. 安全な住まい 教材：プリント、資料集	【知識・技能】 ・住生活に関する基本的知識を理解している。 【提出物、定期考査】 【思考・判断・表現】 ・住生活について学んだ知識から身の回りの生活に結びつけて思考することができる。 【提出物、定期考査】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・住生活について、関心を持って学ぼうとする態度があり、課題に意欲的に取り組むことができる。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 【授業への取り組み、提出物】	○	○	○	6
単元：＜経済的に自立する＞ 【知識及び技能】 経済生活や消費生活に関する基本的知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ知識から自身の生活に結びつけて思考・判断し、実践することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 経済生活や消費生活に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、課題に意欲的に取り組む。期限を守って提出物を提出することができる。	第8章 経済的に自立する 1. 消費行動を考察する 2. 収入・支出を把握する 3. 長期的な経済計画 4. 契約と主体的な行動 5. 販売方法と問題意識 6. 消費者を守る制度・法律 7. 消費者の権利と責任 8. 持続可能な社会の構築 教材：プリント、資料集	【知識・技能】 ・経済生活や消費生活に関する基本的知識を理解している。 【提出物、定期考査】 【思考・判断・表現】 ・学んだ知識から自身の生活に結びつけて思考し、適切な判断をすることができる。 【提出物、定期考査】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・経済生活、消費生活について、関心を持って学ぼうとする態度があり、課題に意欲的に取り組むことができる。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 【授業への取り組み、提出物】	○	○	○	11	
定期考査			○	○		1	
						合計	70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典講読

教科：国語

科目：古典講読

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：

使用教科書：（『高等学校 標準古典探究』（第一学習社））

教科の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、伝える力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

科目 古典講読の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
1 学期	1 単元 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価する 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。	・指導事項 古本説話集「平中が事」 十訓抄「文字一つの返し」 古今著聞集「小式部内侍が大江山の歌の事」 ・教材 標準古典探究、古典文法書、国語便覧 ・一人一単元末の活用		○		○	○	○	○	9	
	定期考査						○	○		1	
	2 単元 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価する 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。	・指導事項 伊勢物語「初冠」「通ひ路の閑守」「小野の雪」 竹取物語「火鼠の皮衣」「かぐや姫の昇天」 ・教材 標準古典探究、古典文法書、国語便覧			○	○	○	○	○	7	
	定期考査				○	○	○	○	○	6	
2 学期	3 単元 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価する 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。	・指導事項 枕草子 ・教材 標準古典探究、古典文法書、国語便覧		○		○	○	○	○	12	
	定期考査						○	○		1	
	4 単元 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価する 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。	・指導事項 源氏物語 契機日記 ・教材 標準古典探究、古典文法書、国語便覧		○	○	○	○	○	○	7	
	定期考査				○	○	○	○		7	
3 学期	5 単元 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価する 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。	・指導事項 源氏物語 契機日記 ・教材 標準古典探究、古典文法書、国語便覧		○	○	○	○	○	○	10	
	定期考査						○	○		1	
	6 単元 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価する 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。	・指導事項 源氏物語 契機日記 ・教材 標準古典探究、古典文法書、国語便覧		○	○	○	○	○	○	7	
	定期考査						○	○		1	
合計											
70											

年間授業計画

高等学校 令和7年度 教科

地歴公民 科目 日本史演習Ⅰ

教科： 地歴公民 科目： 日本史演習Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書： (詳説日本史 山川出版)

教科 地歴公民 の目標：

【知識及び技能】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史演習Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第8章 近世の基開け 【知識及び技能】 織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。また、桃山文化について、諸資料から情報を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出そうとしている。	織豊政権 桃山文化	【知識・技能】 院政への転換と平氏政権誕生について資料を適切に読み取り、社会の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 院政と平氏政権の課題について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	第9章 幕藩体制の成立と展開 【知識及び技能】 鎌倉政権の発展と元寇の背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 鎌倉幕府の構成と元寇の影響を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 鎌倉政権の成立と衰退を考察し、その影響を表現する。	幕藩体制の成立 幕藩社会の構造	【知識・技能】 承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異について、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
2 学期	第9章 幕藩体制の成立と展開 【知識及び技能】 琉球・蝦夷・島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 室町政権の成立と発展を考察し、その影響を表現する。	幕政の安定 経済の発展	【知識・技能】 鎌倉幕府崩壊後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。 【思考・判断・表現】 南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	第10章 幕藩体制の動揺 【知識及び技能】 諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 室町幕府の衰退を考察し、その影響を表現する。	元禄文化 幕政の改革	【知識・技能】 諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。 【思考・判断・表現】 自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動の関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
3 学期	第10章 幕藩体制の動揺 【知識及び技能】 戦国大名の誕生の意味と都市の発展の経過について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 応仁の乱以降、地方勢力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけ考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 戦国大名の登場と民衆の生活を考察し表現する。	室暦・天明期の文化 幕府の衰退と近代への道 化政文化	【知識・技能】 守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を諸資料から考察し、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 15世紀から18世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 70

教科: 数学 科目: 数学演習 I
対象学年組: 第 2 学年 全クラス
教科担当者:
使用教材: ベストステップ 数学 I・A (中野日本教育文化会)

- 【知識及び技能】
数学における基本的な概念や法則などについて理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
事象を数学的に考察・表現し、処理する方法を身につける。事象を数学的にとらえ、論理的に考え、よりよく問題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学的活動を通して、数学の論理や体系に関心をもち、数学的な見方や考え方の良さや認識し、それらを事象の考察に積極的に活用する態度を育てる。

Table with 4 columns: 知識及び技能, 思考力、判断力、表現力等, 学びに向かう力、人間性等, and a blank column. It contains detailed learning objectives for each category.

Main curriculum table with 6 columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価標準, 知, 思, 配当時間. It details the content and assessment for various mathematical topics like 1次不等式, 2次方程式, 関数, 確率, 図形と計量, etc.

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科

情報 科目 情報応用

教科： 情報 科目： 情報応用
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組
 教科担当者：
 使用教科書： (図説 情報 I 実教出版)
 教科： 情報

単位数： 2 単位

【知識及び技能】
 【思考力、判断力、表現力等】
 【学びに向かう力、人間性等】

の目標：
 情報機器などを応用して実践的なデータ処理の方法について理解できる。
 社会で活用できる情報処理能力を実践して理解できる。
 情報技術を適切に応用することから自ら積極的に情報社会に参画することができる。

科目	情報応用	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学んで来た情報技術を利用して、情報化社会での活用方法について理解しているか。	問題に対して適切な情報機器の選択やソフトウェアを活用し情報を処理する技術を効果的に用いることができるか。	情報社会で活用されている技術に対して興味・関心を持って、情報機器、ICT機器等の活用を積極的に活用できる実践力を高められるか。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配 時 数
				知	思	態	
1 学 期	A コンピュータ構成要素 1 コンピュータの基本用語 2 入出装置の基本 3 記憶装置の基本 【知識及び技能】 ・コンピュータの動作原理が理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・データの入出力方法、記憶方法を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自らが利用している情報機器に興味・関心を持つことができる。	・コンピュータで使用されるの基本用語を理解する。 ・入出装置の基本動作について理解する。 ・記憶装置の基本動作について理解する。	【知識・技能】 ・コンピュータの動作原理が理解できる。 【思考・判断・表現】 ・データの入出力方法、記憶方法を表現することができきる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らが利用している情報機器に興味・関心を持つことができる。	○	○	○	10
	B ソフトウェアとマルチメディア 【知識及び技能】 ・ソフトウェアとメディアの特性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・メディア活用方法を適切に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ソフトやメディア技術に関心を持つ。	・ソフトウェアについて理解する。 ・ファイル管理について理解する。 ・マルチメディアについて理解する。	【知識・技能】 ・ソフトウェアとメディアの特性を説明できる。 【思考・判断・表現】 ・適切なメディア活用を提案できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・技術の応用に主体的に取り組む。	○	○	○	8
	C 基礎理論 【知識及び技能】 ・数値処理や論理演算の基礎を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・計算誤差や論理式を適切に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数理的な思考に興味を持つ。	・補数、浮動小数点、誤差について理解する。 ・論理演算について理解する。 ・人工知能について理解する。	【知識・技能】 ・基礎理論の計算方法を説明できる。 【思考・判断・表現】 ・数値概念を活用して問題を解決できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら計算や演習に取り組む。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期	D アルゴリズムとプログラミング 【知識及び技能】 ・基本的な整列・探索アルゴリズムを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題に応じた適切なアルゴリズムを選択できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・プログラムの改善に積極的に取り組む。	・データの探索、整列について理解する。 ・プログラミング言語の種類を理解する。	【知識・技能】 ・整列・探索のアルゴリズムを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・効率的な手法を考え実装できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・試行錯誤しながら最適化を行う。	○	○	○	12
	E システム構成要素 【知識及び技能】 ・サーバーやRAIDの役割と仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・システム構成の設計や評価ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・インフラ技術に関心を持つ。	・サーバーについて理解する。 ・RAIDについて理解する。	【知識・技能】 ・サーバー・RAIDの構成と運用を説明できる。 【思考・判断・表現】 ・システム要件に応じた構成を考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実際のシステム構築に挑戦する。	○	○	○	5
	F データベース技術 【知識及び技能】 ・データベースの基本概念とSQLを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切なデータ操作・管理ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・データの活用に興味を持つ。	・データベースとは何か知る。 ・SQLについて理解する。	【知識・技能】 ・SQLを用いた基本的な操作ができる。 【思考・判断・表現】 ・効率的なデータ管理を設計できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実践的なデータ活用に挑戦する。	○	○	○	6
3 学 期	G ネットワーク技術 【知識及び技能】 ・ネットワークの基本構造とプロトコルを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ネットワーク構成を適切に設計できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ネットワーク技術に興味を持つ。	・通信プロトコルについて理解する。 ・ネットワーク接続機器について理解する。 ・IPアドレスについて理解する。	【知識・技能】 ・基本的なネットワーク設定を説明できる。 【思考・判断・表現】 ・効率的なネットワーク設計を提案できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実践的な構築や設定に挑戦する。	○	○	○	7
		定期考査		○	○		1
	H 情報セキュリティ 【知識及び技能】 ・セキュリティの脅威と対策を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・安全なシステム運用を考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・セキュリティ意識を持ち、実践する。	・マルウェアについて理解する。 ・サイバー攻撃について理解する。 ・暗号技術について理解する。	【知識・技能】 ・情報セキュリティの基本原則を説明できる。 【思考・判断・表現】 ・適切なセキュリティ対策を実施できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らセキュリティ対策を実践する。	○	○	○	6
I システム開発技術 【知識及び技能】 ・オブジェクト指向とUI/UXの概念を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・使いやすいシステム設計を考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・システム開発に関心を持つ。	・オブジェクト指向について理解する。 ・ヒューマンインタフェースについて理解する。	【知識・技能】 ・オブジェクト指向やUI設計の基本を説明できる。 【思考・判断・表現】 ・直感的なUIを設計・実装できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実際のシステム開発に挑戦する。	○	○	○	6	
	定期考査			○	○		
合計							70

